

平成最後の日「4/30」限定の宿泊プラン販売！

新元号「令和」の漢字が名前に入っている宿泊客に“平成福袋”贈呈

全員に、新元号の刻印入り升と、日本酒の特典付き

東京駅前の、ミシュラン掲載ホテル「ホテル龍名館東京」(中央区八重洲1、客室数135部屋)は、新元号をホテルで迎える方向けの、特典付き宿泊プランを販売します。

新プランでは、本日4月1日に決定した新しい元号「令和」の漢字が、1文字でも名字や名前に入る方に、“平成福袋”をプレゼントします。平成にブームを起こした、今もなお愛され続ける文房具の詰め合わせで、ビジネスパーソンのお客様が多い当ホテルならではの福袋とします。

またプランの予約者全員の客室に、新元号を刻印したヒノキの升と、オリジナル日本酒を用意します。

対象宿泊日は、平成最後の日となる4月30日(火)～「令和」の初日5月1日(水)の1泊限定で、税込価格はシングル22,000円～、セミダブル27,000円～です。“福袋”と升・日本酒ともに、お一人につき1点を用意します。

ビジネスで活躍！平成ヒット文房具“福袋”

“平成福袋”は、平成に大ヒットし話題となった文具5点で、「こんなのあった！」と思わず唸るラインナップです。氏名に、新元号の漢字「令和」の2文字のうち1文字でも含む方にプレゼントします。

中身は、本体を上下に振って芯を出す“フレフレ機能”が話題となった平成3年発売の「ドクターグリップシャープペン」や、カドが28個あるユニークな形で使い続けても消しやすさが持続する消しゴム「カドケン」(平成15年発売)、研究開発に30年かかった消えるボールペン「フリクションボール」(同19年発売)、針なしで紙を留めるホチキス「ハリナックス」(同21年発売)、切り離して貼れる付箋紙「ココサス」(同25年発売)の計5点です。

ビジネス利用の多いホテルとして、平成を懐かしみながらオフィスで実際に使用できる、実用的な5品を組み合わせました。改元にちなんで、名前に特別なゆかりがある方へ、新たな時代の始まりを祝うささやかな福袋を用意します。

「令和」の文字を刻印を入れた升は、ヒノキづくりの本格派です。

龍名館オリジナルの日本酒「一八九九(いちはちきゅうきゅう)」(180ml)とともに、新年の祝杯をあげていただきます。日本酒は、まるやかな味わいと華やかな香りが楽しめる特別純米酒です。“縁起の良い升”に注いで、リッチなヒノキの香りとともに、特別な夜を過ごしていただきます。



(上)限定特典:平成ヒット文房具“福袋”
(下)全員特典:升(イメージ)&日本酒

宿泊プラン概要

名 称	【公式 HP 4 月 30 日限定！】新元号記念☆龍名館オリジナル日本酒&記念樹付プラン ～ありがとう平成～
対象期間	2019 年 4 月 30 日(火)～5 月 1 日(水)の平成から新元号「令和」に変わる 1 泊限定
予約期間	3 月 20 日(水)～4 月 29 日(月) ※ホテル公式 HP(https://www.ryumeikan-tokyo.jp/)にて予約受付 ※先着 7 室限定
部屋価格 (税込)	スタンダードシングル(1 名):22,000 円、スタンダードセミダブル(2 名):27,000 円 コーナーデラックスツイン(2 名):46,000 円、プレミアムスイート(2 名):89,000 円 他 ※プラス 2500 円で朝食「東京ブッフェ」の追加が可能
特典①	◇龍名館オリジナル日本酒「一八九九」(180ml) ◇「令和」が刻印された、ホテルオリジナルのヒノキの升
特典②	◇平成に大ヒットし話題になった文房具を詰め合わせた福袋 ※氏名に、「令和」に使われる漢字 1 文字以上を含む宿泊客限定 ※チェックイン時に、身分証をご提示いただきます <1>ドクターグリップ G スペック(((株)パイロットコーポレーション)/シャープペンシル <2>カドケシ(コクヨ S&T(株)/消しゴム <3>FRIXION BALL((株)パイロットコーポレーション)/こすると消えるボールペン <4>ハリナックスコンパクト α (コクヨ(株)/芯なしホチキス <5>ココサス((株)ビバリー)/付箋紙



シングルからプレミアムスイートまで、全 8 タイプがプラン対象



朝食は野菜もたっぷり摂れる「東京ブッフェ」。創業 120 年、会席料理屋として培った伝統を受け継ぐ本格和食の数々をビュッフェ形式で

ミシュランガイド 8 年連続掲載&トリップアドバイザーで好評価 東京駅前のスモールラグジュアリーホテル「ホテル龍名館東京」について

2009 年開業の「ホテル龍名館東京」(八重洲)の元々は、1899 年(明治 32 年)開業で、現在も営業中の「ホテル龍名館お茶の水本店(旧旅館龍名館本店)」(神田駿河台)の分店として開業した、「旅館 呉服橋龍名館」(1963 年「ホテル八重洲龍名館」に改称)です。

源流である「旅館龍名館本店」は開業以来、画家や作家、芸術家など文化人に愛され、日本画家では川村曼舟や伊東深水らが泊まったこともある伝統ある旅館です。作家の幸田露伴の次女である幸田文が、小説「流れる」で、帝国ホテルと並び在京の名店に挙げたほか、宿泊いただいた画家が宿泊代の代わりに自身の絵を置くなどのエピソードが残る老舗です。

その文化を汲む「ホテル龍名館東京」は、世界主要都市の高級ホテルのデザインを多数でがけるデザイナー、ジョー・リベラによる内装と、和・洋が融合した気品のある優美なしつらえが特徴で、男性イメージのビジネスホテルとは一線を画すスモールラグジュアリーホテルとして、お客様に定着しています。

東京駅前徒歩 3 分という好立地で、ビジネスはもとより旅行の拠点としても多くご利用いただいています。

これまでにミシュランガイドに 8 年連続(2012 年～2019 年)で掲載されたほか、日経トレンディの「2012 年ホテルランキング」のビジネスクラスの部類で全国 1 位を獲得するなど、高い評価を得ています。

また世界最大の旅行口コミサイト「TripAdvisor (トリップアドバイザー)」では、2011 年度より 8 年連続のエクセレンス認証を受賞し、殿堂入りするなど、外国人観光客にも人気を集めています。



さらに、ホテル 15 階の和食店「花ごよみ東京」では、月替わりの”手作り本格和食”と 30 種のベジタブル料理を楽しめる朝食ビュッフェ「東京ブッフェ」が大変ご好評いただいています。ご宿泊客はもちろん、一般のお客様もご利用いただけます。

施設名	ホテル龍名館東京	開業日	2009 年 6 月 1 日
住所	東京都中央区八重洲 1-3-22	交通	JR 東京駅八重洲北口から徒歩 3 分
客室	シングルルーム、ツインルーム、スイート等 12 種類の客室をご用意		
客室数	客室 135 室、レストラン 2 軒	宿泊料金	20,000 円～
電話	03-3271-0971	ホームページ	http://www.ryumeikan-tokyo.jp/

本件に関する報道各位からのお問い合わせ先

(株)龍名館 広報担当 山口、濱田(はまだ) 03-5298-2988(tel) p.r@ryumeikan.co.jp
 広報事務局(Clover PR 内) 福本、富田、澤本 03-6452-5220(tel) cloverpr@cloverpr.net